

かな部

長谷川 露香

今回、皆さんの作品を見せて頂き、改めて多種多様ななあと。私も勉強になります。ただ気になった事は、変体かなが不正確なのが有り、写真掲載が出来ず残念です。早書きも気になります。

かな作品は、特に墨色と潤渇が大切です。吊って見ると下に置いて見るとでは違います。制作後は、しばらく吊って眺める事をおすすめします。そうすると、客観的に見えて来ます。

かな部 条幅課題

A 晩秋の風ばんしゅうのかぜのそよぎそよぎの中なかにして

ひたすらに掌てを合あわせるかな (岡本かの子)

B 落雁らくがんの声こゑのかさなる夜寒よせむかかな

(森川許六)

・晩秋の風が草木をそよがせている。その中であって、わたしは一心に合掌し、念じつづける思いにこころごとよ。

(しめきり).....十二月十六日)

◎条幅出品券を作品の右下へ必ず貼付すること。

なお、作品の裏右下に段位、氏名を忘れず記入のこと。

※出品資格：五段以上。A・Bの両方同時に出品可。

※二点出品の場合、出品券の下部にA・Bを明記のこと。

(選評)

師範・準師範の部

敬香君 三行を余白を入れ、すっきりとまとめた。

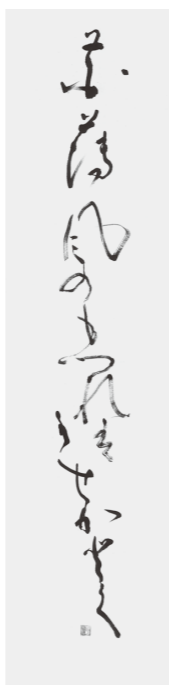
紅華君 余裕のある美しい作。

薫堂君 気脈も通り素晴らしい作。

娃田君 ゆうゆうとした書きっぷり。

古溪君 素直な作。二行目にもう少し揺れを。

(助教以下の部)



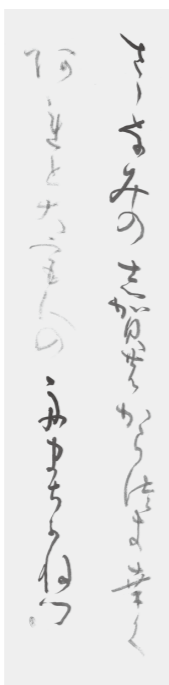
北野華風

濃墨で大胆な書きっぷり。



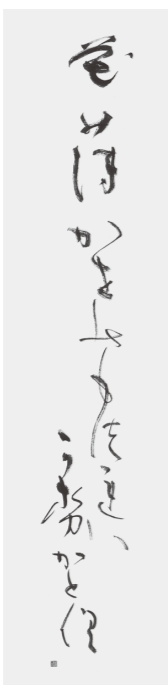
能勢玄海

堂々としていて安定感がある。



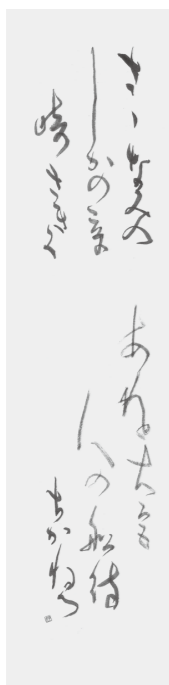
岡本香華

品よく、柔らかな作。



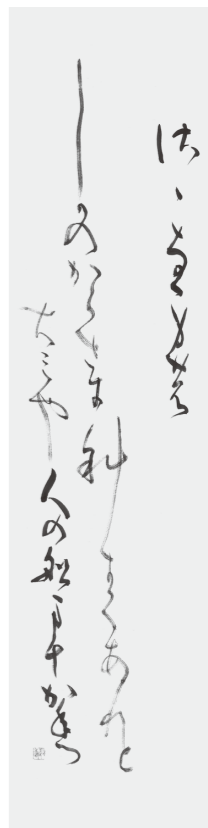
木村翠孝

達者な筆使いで秀逸。

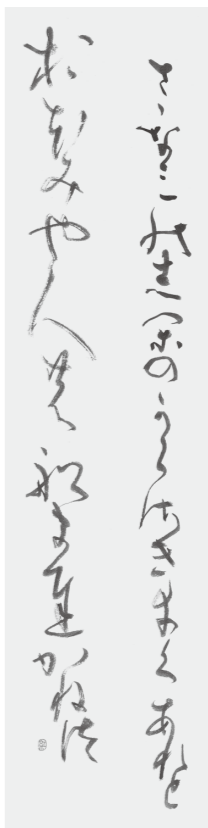


山岡好子

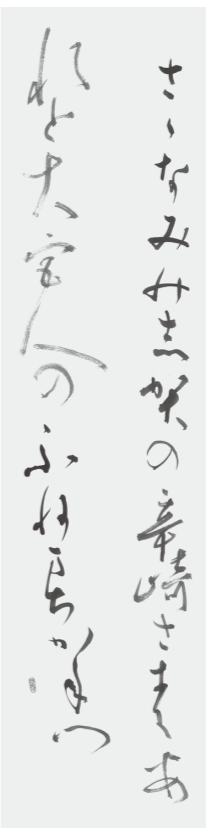
二段書きで上手くまとめている。



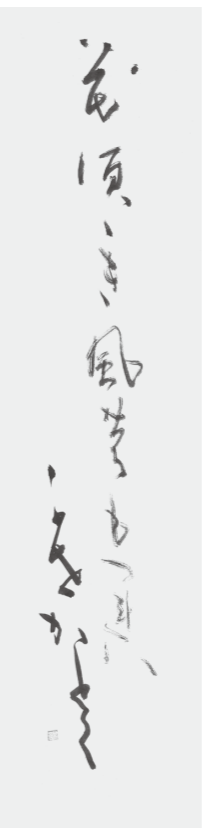
國村敬香



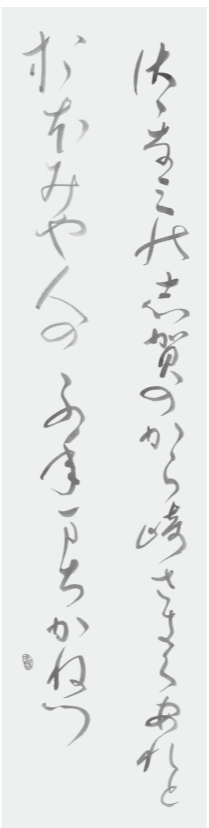
後藤紅華



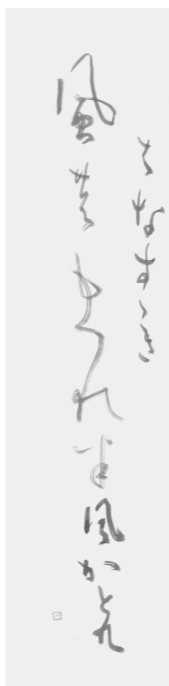
成宮薫堂



久米娃田

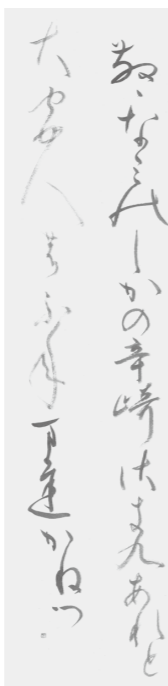


河崎古溪



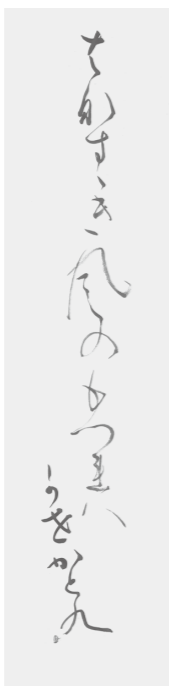
西田治美

運腕大きく動きのある作。



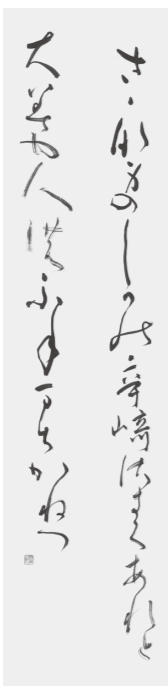
位ノ花葉子

自然な流れで素直な書きっぷり。



岡田清子

和やかで明るい作。



坂牧青煌

無理のない流れで気品あり。



小森琴葉

美しい流れの秀作。終句の構成一考。